



麦類生産費統計調査票【六条大麦】

(個別経営体用)

「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目次

はじめに

「農業簿記11」での初期設定	1
部門や補助科目の設定、補助科目一覧表	2、3

調査票の記入

1：経営の概況	4、5
2：生産物の販売等の状況	6～9
3：対象品目の麦生産のために使用した資材等	10～19
4：物件税及び公課諸負担	20、21
5：土地改良及び水利費	22、23
6：借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	24、25
7：建物及び構築物（土地改良施設を含む。） の所有状況	26、27
8：自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	28、29
9：農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	30、31
10：農具の購入費等	32、33
11：土地の面積及び地代	34～37
12：作業別労働時間	38、39

<記入上の注意事項>

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。
※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記11」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、六条大麦生産費の調査票を記入する場合、事前に畑作部門設定しておくほか、調査項目を農業簿記に設定しておく必要があります。
なお、麦しか生産していない場合は部門の設定は必要ありません。
(取引事項が発生した時点で、設定することも可能です。)

畑作部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されます。
後から設定する場合は、以下の手順で行います。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択
(詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。)

また、麦生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。
例えば、農薬費の内訳として、除草剤、殺虫剤、殺菌剤を設定する必要があります。
(3頁に一覧表があります。)

以下の手順にて、六条大麦生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、
分類（売上、経費、負債等）別に、設定します。

<記入上の注意事項>

1. 「農業簿記11」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考に
にして、調査票に直接ご記入ください。
2. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく場
合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

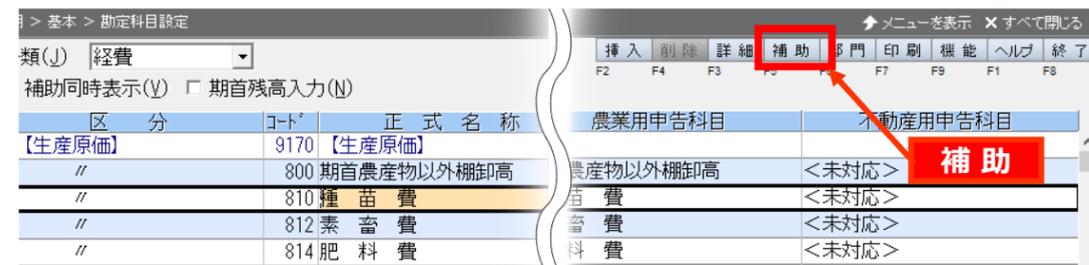
畑作部門の設定

複数の品目を生産・販売している場合は、「畑作部門」を事前に設定します。以下の図はソリマチ「農業簿記11」の起動画面「ダイレクトメニュー」です。
 ここから、横【初期】⇒縦【基本】⇒メニュー【部門設定】と進みます。

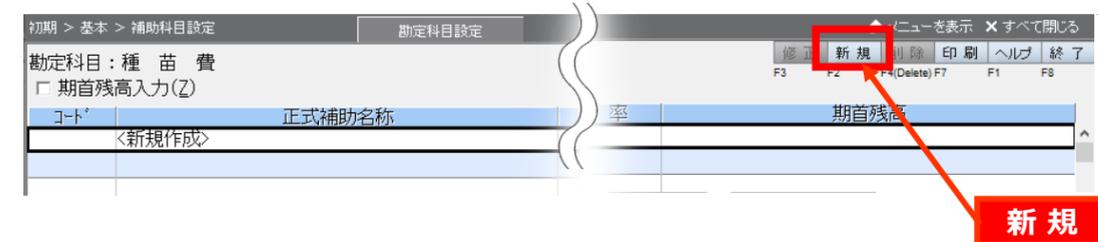


補助科目の設定

ダイレクトメニューで【初期】⇒【基本】⇒【勘定科目設定】と進みます。
 補助科目を追加したい勘定科目を選択し、上部タブメニューの【補助】を選択



「補助科目設定」画面から【新規】⇒入力フォームが表示されるので【正式補助名称】の記入と【税率】の設定を行い【設定】ボタンを押すと登録されます。



六条大麦生産費における補助科目（設定例）

損益計算書（勘定科目）⇒《経常損益の部》

【売上高】売上高		【生産原価】期首農産物以外棚卸高	
売上高	六条大麦に係る収入	種苗費	種子
	六条大麦（1等）		
	六条大麦（2等）		
	六条大麦（規格外A）		
	六条大麦（規格外B）		
	六条大麦（規格外C）		
	麦わら（販売用）		
	くず麦		
	はだか麦に係る収入		
	はだか大麦（1等）		
	はだか大麦（2等）		
	はだか大麦（規格外A）		
	はだか大麦（規格外B）		
	はだか大麦（規格外C）		
麦わら（販売用）			
くず麦			
光熱費 動力費	潤滑油	肥料費	窒素質肥料
	混合油		リン酸質肥料
	電力料		カリ質肥料
	その他		けい酸質肥料
資材費	資材	炭酸カルシウム	複合肥料
	農機具費	複合肥料	土壌改良資材
修繕費	建物修繕費	たい肥・きゅう肥	その他
	農具修繕費	農薬費	殺虫剤
	車修繕費		殺菌剤
	殺虫殺菌剤		
賃借料	薬剤散布共同負担金	除草剤	その他
	共同施設負担金	光熱費 動力費	重油
	農機具借料		軽油
その他	灯油		
地支払	小麦（K団地）	土地改良水利費	揚水ポンプ組合費
	小麦（L団地）		その他
作業委託料	航空防除費	【販売費一般管理費】	雇人費
	賃耕料		男雇用
	は種・定植料		女雇用
	収穫請負わせ賃		
乾燥調製料	乾燥調製料	固定負債	長期借入金
	その他		△△資金（トラクター用）
			××資金（コンバイン用）
助成金収入	水田活用の直接支払交付金	流動負債	買掛金
	戦略作物助成金		短期借入金
	産地交付金		
	畑作物の直接支払交付金		
面積払	面積払	共済金	農業共済
	数量払		
数量払	数量払	【負債の部】	買掛金
			短期借入金

※ 上記以外でも普段使用しているものがあれば、随時追加しておいてください。

【1】 経営の概況

- 1 経営耕地
- 2 世帯員数と農業就業者数等
- 3 認定農業者の状況
- 4 直近5か年の10a 当たり収量
- 5 対象品目の麦生産における作業委託の状況
- 6 対象品目の麦の品種別作付面積

調査票 P3,4

「経営の概況」1~6項

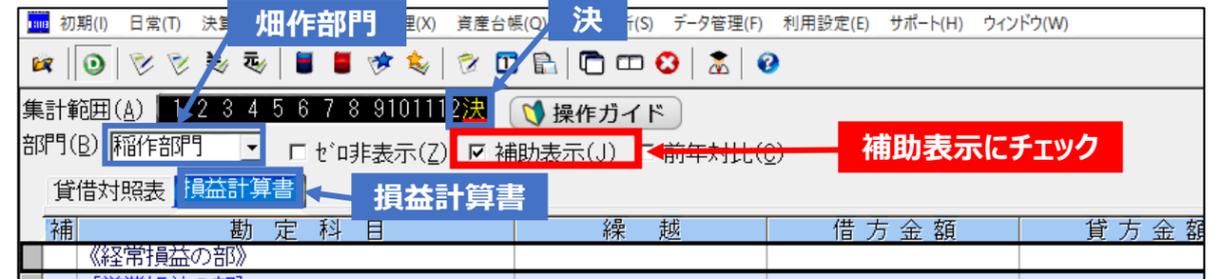
左記6項目に関しては、「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

制度受取金等の状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表 ⇒ 集計範囲：決算 ⇒ 部門：畑作部 ⇒ 表示タイプ「補助表示」にチェックを入れて、損益計算書を選択し印刷します。

事前に、「農業共済」、「戦略作物助成金」、「面積払」等の補助科目を設定しておきます。



ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。
また、わかりやすいよう補助科目は赤字にしています。
(以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。)

7 制度受取金等の状況

・当年産の対象品目の麦に係る制度受取金等について記入してください。

調査票 P4

区分		掛 金 (円)				受 取 金 (円)			
		万	千	百	十	万	千	百	十
農 業 共 済		6	9	0	0				
水田活 用の直 接支払 交付金	戦略作物援助					1	5	0	5
	産地交付金								
畑作物 の直接 支払交 付金	面 積 払					9	0	1	0
	数 量 払					4	9	6	2

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
共済 掛金					
農業共済				69,000	
[営業外損益の部]					
【営業外収益】					
助成金収入				2,902,200	
戦略作物助成金				1,505,000	
産地交付金					
面 積 払				901,000	
数 量 払				496,200	

【2】生産物の販売等の状況

調査票 P5

1 対象品目の麦（六条大麦）の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

区分	内容例示	数量 (kg)				金額 (円)				
		万	千	百	十	万	千	百	十	
販売用	1 等 (計)	1	1	7	0	3	8	6	1	0
	農産物検査において「1等」と判定されたもの									
	2 等 (計)									
	農産物検査において「2等」と判定されたもの									
	規格外 A (計)			8	8	1	6	7	2	0
含む	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの									
	規格外 B (計)									
	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランクのもの									
	規格外 C									
	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Cランクのもの									
自家用	その他									
	種子用のほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの									
	食用に仕向けた（予定を含む。）1・2等、規格外Aのもの									
	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの									
	自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちBランクのもの									
自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちCランクのもの										
その他	食用、種子用、規格外B・C以外に仕向けた（予定を含む。）もの									

販売用（予定を含む。）の記入

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「六条大麦（1等）」、「六条大麦（2等）」等を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【売上高】					
六条大麦に係る収入				410,020	
六条大麦（1等）				386,100	
六条大麦（2等）					
六条大麦（規格外A）				16,720	
六条大麦（規格外B）					
麦わら（販売用）				4,500	
くず麦				2,700	

販売用及び、自家用の数量の記入

「農業簿記11」では対応しておりません。麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

調査票 P 6

3 麦わら、くず麦の販売状況等

(1) 麦わら

区 分	内 容 例 示	数量の割合 (%)	金 額 (円)
販 売 用	麦かん、麦わら加工品、麦めか、ふすま等	30	45000
自 家 用	販売していない麦わら全般	70	
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら	80	
計		100	

(2) くず麦

区 分	数量の割合 (%)	販売用	自家用	その他 (廃棄等)
く ず 麦	100	30	10	60

区 分	販売金額 (円)
く ず 麦	27000

麦わらとくず麦の販売金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「麦わら（販売用）」、「くず麦」を設定しました。

損益計算書		合計残高試算表 畑作部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【売上高】					
六条大麦に係る収入				2,977,270	
六条大麦（1等）				2,769,000	
六条大麦（2等）				0	
六条大麦（規格外A）				0	
六条大麦（規格外B）				205,570	
麦わら（販売用）				4,500	
くず麦				2,700	

麦わら、くず麦の「数量の割合」

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

調査票 P6

1 種苗費

(1) 種子 (購入)

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)				
			万	千	百	十	
計		-	5	8	0	0	0

(2) 種子 (自給)

品 種 名	数 量	単 位

種苗費 (購入金額)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種苗費の補助科目として「種子代」を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
種子代				58,000	

種子の購入及び自給数量

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。
次ページ以降の調査項目も同じです。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				対象品目 負担割合 （%）	備考欄		
			万	千	百	十				
計		—								
窒素 質	ノウスイ硫安	500 kg	2	3	5	0	0	2.5		
りん 酸 質										
カリ 質										
けい 酸 質								※融雪剤として使用した 分は「5 諸材料費」 に記入してください。		
(炭酸カルシウム 石灰含む)	スーパー〇〇	18560 kg	8	1	6	6	4	0	2.5	
複 合 肥 料	パワー△△号	8400 kg	1	7	6	4	0	0	0	2.5
土 壌 改 良 資 材										
	たい肥・きゅう肥	500 kg		1	0	7	5		2.5	
そ の 他		—	1	2	0	7	0		2.5	

肥料費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。
また、肥料費の補助科目として「窒素質肥料」、「複合肥料」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
種子代				58,000	
肥料費				2,167,285	
窒素質肥料				23,500	
炭酸カルシウム				816,640	
複合肥料				1,764,000	
たい肥・きゅう肥				1,075	
その他				12,070	

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費（続き）
（2）自給（自家生産した肥料）

資 材 名 等	数 量 (kg)				対象品目 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
た い 肥					
き ゆ う 肥					
稲 ・ 麦 わ ら			5 6 0		2 5
そ の 他					

3 農業薬剤費

資 材 名 等	金 額 (円)				対象品目 負担割合 (%)	備 考 欄
	万	千	百	十		
計						
殺 虫 剤						
	〇〇乳剤	2 6 8 0 0 0				2 5
殺 菌 剤						
殺 菌 虫 剤						
除 草 剤	△△フロアブル	5 8 7 2 0 0				2 5
そ の 他						

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

自給肥料の投入量

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業薬剤費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。
また、農業費の補助科目として「殺虫剤」「殺菌剤」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
肥料費				2,167,285	
<hr/>					
農業費				855,200	
殺虫剤					
殺菌剤				268,000	
殺虫殺菌剤					
除草剤				587,200	
その他					

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

4 光熱動力費

資材名等		数量	単位	金額（円）	対象品目負担割合（%）
購入（計）			-		
動力燃料	重油		L		
	軽油	25452	L	188804	25
	灯油		L		
	ガソリン	95	L	12445	15
	潤滑油		L		
	混合油	133	L	21945	15
電力料			-	7330	15
その他の（水道料、木炭などの燃料）			-	9600	15
自給	薪	20	kg		15

5 諸材料費

資材名等		数量	単位	金額（円）	対象品目負担割合（%）
購入（計）			-	16000	25
自給	なわ	10	m		25

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、動力光熱費の補助科目として「重油」、「軽油」等を設定しています。なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
肥料費				2,167,285	
動力光熱費				240,124	
重油				188,804	
軽油					
灯油					
ガソリン				12,445	
潤滑油					
混合油				21,945	
電力料				7,330	
その他				9,600	
諸材料費				16,000	
育苗用土					
その他					

自給資材について

「農業簿記11」では対応しておりません。麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

6 賃借料及び料金

料 金 名 等		数 量 等	単 位	金 額 (円)				対 象 品 目 負 担 割 合 (%)		
計			—		万	千	百	十		
負 共 担 同 金	薬 剤 散 布		—		7	0	1	0	0	2.5
	共 同 施 設		—							
	農 機 具 借 料		—	1	1	3	0	0	0	1.5
	航 空 防 除 賃	1802.0	a	2	7	0	3	0	0	2.5
	賃 耕 料		a							
	は 種 ・ 定 植 料		a							
	収 穫 請 負 せ 賃		a							
	乾 燥 調 製 料	13210	kg	1	9	1	5	4	5	1.0
	そ の 他		—		9	7	0	0		2.5

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料並びに作業委託料の補助科目として共同による
「薬剤散布共同負担金」「航空防除賃」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
賃借料				183,100	
薬剤散布共同負担金				70,100	
共同施設負担金					
共同苗代負担金					
農機具借料				113,000	
その他					
作業委託料				471,545	
航空防除賃				270,300	
賃耕料					
は種・田植賃					
収穫請負せ賃					
乾燥調製料				191,545	
その他				9,700	

数量の入力

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】 「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。